

新 製 品 紹 介

保護網型高周波用静電蓄電器*

商用周波数の力率改善用静電蓄電器の利用は茲數年間に非常なる發達を遂げ、弊社に於いても此れが製作に多大の努力を拂つて來た事は昨年十二月の本誌の本欄に於いて御紹介致した通りであります。此所に静電蓄電器應用の一例として、最近理研重工業株式會社殿に納入せる高周波誘導電氣爐の力率改善を目的とせる高周波用静電蓄電器を御紹介致します。

本器は下記の如き仕様のもの2種類を十數臺並列に組合せて使用されます。

A) 116 kVA 1φ 960 cy. 800 V.

B) 77.5 kVA 1φ 960 cy. 800 V.

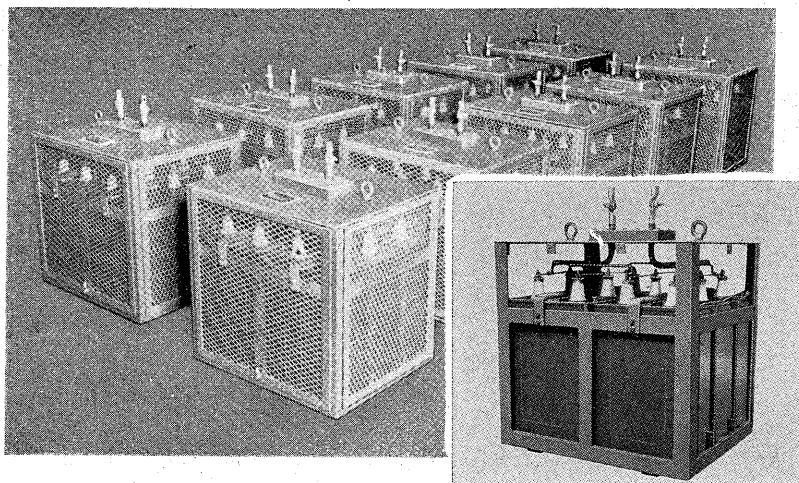
使用状態に依り静電容量を隨時任意に増減し得るために比較的小容量のものを數多く並列に使用しますが、尙 A、B 共に同一の $5\mu\text{F}$ 單位函を、Aは6個、Bは4個を並列に組合せて、容易に保護網を取外し接続電線を外す事に依り、各單位を切離す事が出來ますから、結局 $5\mu\text{F}$ 毎に自由に静電容量を増減致し得るわけであります。

次に本器の特徴に就いては、第一に、960 cy. と云ふ高周波に使用されるために kVA に對して非常に小

型である事であります。概略寸法を御参考迄に申しますと、116 kVA の方は高さ 665 耗 (ターミナルを含む)、幅 565 耗、奥行 450 耗で、77.5 kVA の方は高さ及幅は同様で奥行が 305 耗であります。重量も非常に軽く大略前者は 140 耗、後者は 100 耗であります。周波數高い故に、誘電體損失の増加が考へられるますが、實驗に徴するも、兎に角蓄電器其のものが損失の極めて僅少でありますから、溫度上昇の問題は全くありません。第二には従來電力用蓄電器は概して屋外用に使用せられる爲に、蓄電器單位函を數個集めて鐵板製の外函中に收め絶縁油を満したものを一般に採用して居りますが、本器は屋内用で特に小型で、運搬等にも便なる様、尙材料の節約の目的を以つて、單に保護網に依り、外傷を防止致して居る丈であります。然し此の爲には、單位函其のものを従來のものより遙かに厚い鐵板を使用し、内容物と外氣との遮斷方法にも特別の考慮を拂ひ萬全を期して居ります。此の他單位函表面は、特殊の防銹塗料を以つて入念に塗裝するか、枠組を特に頑丈に設計する等、種々の考慮を致して居りますので、従來の外函中に收めて絶縁油を満したものに比しても些の遜色無き事を

確信致して居ります。

(富士電機 製作部 安田文彦)



116 kVA 保護網型高周波用静電蓄電器

* Protecting Net Type High Frequency Static Condenser



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。